

第2編 第8次上市町総合計画・基本計画【重点施策】

第8次上市町総合計画において、都市から本町へひと・もの・しごとの流れを呼び込み、地域の活性化を図る地方創生の施策を基本計画の「重点施策」とし、第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけます。

第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【おおかみこどもプロジェクト】

1. 地方創生の方針

上市町出身の細田守監督のアニメーション作品「おおかみこどもの雨と雪」において、都会暮らしをしていた雨と雪の母親である花は、のびのびと子育てができる環境を求め、上市町がモデルとなっている地方の町に移り住みます。移住先の町から広々とした空き家を紹介してもらい地方での生活を始めた花は、地域の人に農業を教えてもらい、学芸員の仕事に就くなど、徐々に生活環境を充実させていきます。そして、雨と雪は、自然とのふれあいや人々との交流を通じて学びを深め、楽しいこと、つらいこと、様々な経験を積んでいくなかで、将来自分がどうなりたいのかを見つけ、やがてそれぞれの道を進んでいきます。

第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、この「おおかみこどもの雨と雪」で描かれた生活シーンを本町を目指すべき地方創生のイメージに位置付け、以下の3点を地方創生の方針とし、「おおかみこどもプロジェクト」として戦略を推進します。

(1) 子育て支援の充実と地域で活躍する人を育む

のびのびと子どもが育ち、これからの社会でその持てる力を発揮して活躍することができるよう、結婚・妊娠・出産・母子保健・保育サービス等の子育て環境の充実を図るとともに、自然豊かな地域からの学びやICTを活用した学びなどを取り入れた特色ある教育によって、**これからの社会に必要とされる人間力と社会性を培い**、地域の将来を担うことのできる子どもたちを育みます。

(2) 移住者を受け入れることができる雇用と住まい

上市町に「住みたい」「やりたい仕事がある」と思える魅力を発信し、劔岳や緑豊かな自然を活かして、交流人口・関係人口の増加策を進めるほか、産業の活性化、住まいと仕事の提供体制及びまちの基盤の充実に取り組みます。

(3) ぬくもり溢れる交流と支え合いで幸せを感じる暮らし

地域に欠かせない資源を守ることで、**安全・安心な生活環境**を保障し、住み慣れた地域でのつながりを大切にした、温かな交流と支え合いの活動の充実などの幸福度向上につながる事業に取り組みます。

イ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり

上市町の子どもをみんなで育てる機運を高め、地域子育て支援拠点への支援をはじめ、読書活動の充実、放課後の居場所づくりとして放課後児童クラブ等の多様な支援策を充実させていきます。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・放課後子ども教室利用人数
- ・放課後児童クラブ設置数

○ 具体的な事業

- ・放課後児童対策（放課後児童クラブ）
- ・子ども家庭総合支援拠点整備
- ・放課後子ども教室の推進
- ・ブックスタート
- ・地域子育て支援拠点への支援

ウ 地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ¹教育の推進

個々の発達の度合に応じた学びを進め、基礎的な学力の定着を図るとともに、ICTを有効に活用することで、自ら考え学ぶ力を培い、地域の中で活躍できるしなやかで伸びしろのある子どもたちを育む教育を推進する。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・家庭での学習習慣²
- ・中学生の自己有用感³
- ・中学生の学習への関心度⁴

○ 具体的な事業

- ・学習支援ソフトの導入や小規模特認校での遠隔授業の推進など、教育へのICT活用
- ・発達相談・支援の充実

エ 郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進

上市町が持つ豊かな自然や歴史・文化を学び体験することにより、郷土への誇りと愛着を育て、もって自己の確立を促し、国際社会の中で自らを表現し、コミュニケーションがとれる子どもたちを育む教育を推進する。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・ふるさと町民学園の延べ参加者数
- ・学校給食での地元食材利用率

○ 具体的な事業

- ・ふるさと学習の実施
- ・学校給食「かみいちの日」の実施
- ・外国語指導助手の配置
- ・ふるさと町民学園講座の実施

¹ 子ども一人ひとりのニーズに合わせた支援・教育

² 全国学習状況調査設問（17）「家で自分で計画を立てた勉強をしていますか」における「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の割合。

³ 全国学習状況調査設問での関連項目〔(5)「自分には、良いところがあると思いますか」(6)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」(8)「将来の夢や目標をもっていますか」〕における「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の割合。

⁴ 全国学習状況調査設問での関連項目〔国語・数学・英語の3教科ごとに「〇〇の勉強は好きですか」「〇〇の勉強は大切だと思いますか」「〇〇の授業の内容はよく分かりますか」「〇〇の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」〕における「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の割合。

○ 具体的な事業

- ・ 上市ブランド商品の開発、販路の拡大 ・ グリーンツーリズム ・ エコツーリズムの推進
- ・ フォトロゲイニング大会の開催 ・ 森林セラピー基地の活用 ・ 産地づくりの推進
- ・ 農産特産物の出荷奨励 ・ 畜産農家への機械購入費助成

ウ 担い手育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ

地方創生や農業の次代の担い手を育成するため、地域おこし協力隊を活用し、生活支援や人的ネットワークの構築などのサポートを行うとともに町内起業を支援し、地域産業の継承と拡大を推進します。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・ 地域おこし協力隊派遣者数 ・ 新規就農者数 ・ 町内での起業家数

○ 具体的な事業

- ・ 地域おこし協力隊の派遣 ・ 農業の新規担い手育成 ・ 起業支援

エ 都市からの人・もの・仕事の流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ

上市スマートインターチェンジの整備を、人・もの・仕事の流れを活性化する好機ととらえ、関係する事業者・団体と連携しながら、情報基盤の整備、移住・定住の支援と住宅の確保、企業立地や公共交通利用の促進を図ります。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・ 無線LANアクセスポイントの整備数
- ・ サテライトオフィス誘致数 ・ 空き家の利活用数 ・ 企業立地数
- ・ 民間住宅団地造成数 ・ 町営バス利用者数

○ 具体的な事業

- ・ 通信幹線の整備 ・ 無線LANアクセスポイントの整備 ・ 移動通信用鉄塔施設の整備推進
- ・ サテライトオフィスの誘致 ・ 空き家の利活用推進 ・ 移住・定住の情報発信
- ・ 移住定住の支援 ・ 企業立地の奨励 ・ 民間住宅団地の造成誘致
- ・ 公共交通機関の利用促進 ・ 町営バスの運行

基本目標3 ささえあう上市

～守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし～



【数値目標】

平均自立期間⁵ 男性 79.3 歳、女性 84.3 歳（平成 30 年）
→ 男性 80 歳、女性 85 歳（令和7年）

【基本的方向】

町民一人ひとりが心豊かで充実した生活を実現できるよう、災害の不安を軽減する取組や、地域福祉の推進と健康づくり活動の支援、地域に欠かせない生活インフラの維持として、かみいち総合病院や上市高校に重点を置いた取組など、ささえあいで安全・安心な暮らしの環境づくりを推進します。

【重点施策】

ア 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る

地域ぐるみの防災・減災の取組として、自主防災組織の活動を支援するとともに、災害時用の備蓄を進めていきます。また、防犯や交通事故といったリスクに対し、設備の設置、啓発活動、教育の機会の創出などの対策を行い、安全・安心な暮らしを守ります。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・ 防災訓練への参加者数
- ・ 交通事故件数

○ 具体的な事業

- ・ 自主防災組織への支援
- ・ 防災訓練の実施
- ・ 災害時用の備蓄品整備
- ・ 避難施設災害時電源設備の整備
- ・ 防犯灯の設置助成
- ・ 交通安全教室の開催支援
- ・ 交通指導員等への活動助成
- ・ 防犯・交通安全の啓発

イ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る

健康寿命の延伸に向けて、がん対策や心の健康、感染症予防等、土台となる心身の健康づくり活動の促進を図ります。また、在宅医療と介護との連携を進めるなど、必要な時安心して医療や介護を受けることができるような環境づくりを進めていきます。

○ 重要業績評価指標（KPI）

- ・ 特定健診受診率
- ・ がん検診受診率

⁵ 国保データベース（KDB）システムにより「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標とした健康寿命を「平均自立期間」と称して算出しているもの。

1-2. 計画の構成と期間

(1) 総合計画

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造により構成します。

①基本構想

本町の課題を踏まえ、令和3（2021）年から令和12（2030）年までの10年間におけるまちの将来像や、まちづくりの基本的な方向性を示すものです。

②基本計画

基本構想を実現するため、基本構想の計画期間の終期である10年後を見通して、中間年である令和7（2025）年までの具体的な施策を示し、主な事業などを体系的に明らかにするものです。

また、基本構想の中間年には改めて施策の評価を行い、後期5年の基本計画を策定します。

③実施計画

基本計画を踏まえ、具体的な事業計画を明らかにするものです。毎年度の予算編成の基本となる計画で、5か年の計画を中間年に見直します。

(2) 総合戦略

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略は、町政の最上位計画である総合計画との整合性を確保するとともに、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、効果の高い施策を集中的に実施していく観点から、計画期間は、令和3（2021）年から令和7（2025）年までの5年間とします。

年度 計画	令和 3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)	8 (2026)	9 (2027)	10 (2028)	11 (2029)	12 (2030)
基本構想	→									
基本計画	前期基本計画(5年間) →					後期基本計画(5年間) →				
実施計画	前期実施計画(5年間) →					後期実施計画(5年間) →				
			見直し					見直し		
総合戦略	→									

2-2 生涯学習の振興

【現状と課題】

- 生涯学習は、人々に学ぶ喜びや感動を与え、達成感・生きがいをもたらすものです。「ふるさと町民学園」は、受講者が楽しく集い、共に学ぶことを大切にしながら30年以上事業を実施しています。また、地区公民館では公民館講座、各種事業を通じて受講者、参加者の教養を高める取組を行っています。
- 図書館では、学校司書との情報共有、絵本の貸し出し、地区公民館の要望に応じ、公民館へ蔵書を配置し、地区公民館では、施設や設備の整備を実施しています。これからも、だれもが学べる環境を整備するとともに、取組内容の質の向上に努める必要があります。

ミライの 上市

生涯学習を通じて得た知識や能力が、地域づくりや地域のつながりの強化に活かされています。

【数値目標】

指標	基準値	目標値
公民館講座受講者数	33,976人	175,000人(R3~R7)
小中学校図書館の1人当たり貸出図書数	16冊	20冊
町立上市図書館・絵本室年間図書貸出冊数	84,606冊	425,000冊以上(R3~R7)

【施策の内容】

2-2-1 生涯学習活動の推進

- ふるさと町民学園、公民館講座において、受講者の増加に向けた講座内容の充実を図ります。
- 図書館と学校との連携を図り、児童・生徒の読書環境の充実に努めます。

2-2-2 生涯学習環境の充実

- 地区公民館の施設や設備の整備を実施し、快適な学習環境の確保に努めます。
- 地区公民館との連携により、地域での読書環境の向上に努めます。
- 図書館において、特集コーナーの充実や、小学校を訪問しての読み聞かせ等の実施により、幅広い世代に対して読書意欲を高めてもらうための活動の充実を図ります。
- 図書館を安全に利用する環境確保のため、図書館情報システムのセキュリティを強化していきます。
- 絵本室において、未就学児を対象とした読み聞かせ等の事業を実施するほか、絵本のシステム化による利用者の利便性向上をきっかけとして、図書館、絵本室の相互利用による利用者の拡大に努めます。

【施策の内容】

<p>1-1-1 担い手の確保・支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内の農業者だけでなく、Uターンによる町外も含めて地域外の人材など多様な農業及び食育の担い手の確保を推進するとともに、農業技術の習得のための支援や、研修を希望される方を高収益作物栽培や有機農法の活用などに取り組む先進農家へ紹介するなど、持続可能な担い手の育成に取り組めます。 ○ 農産特産物のブランド化を推進し担い手の所得向上を図るとともに、里芋など上市ブランドの安定生産を支援します。 ○ 新規就農希望者と農業法人等とのマッチングや就農促進に向けた取組を支援し、地域農業の次世代を担う人材の確保・育成を図るとともに、円滑な経営継承を支援します。 ○ 森林施業の従事者や、集約化・低コスト化を担う施業プランナー、現場管理責任者等の人材の確保と育成を図ります。
<p>1-1-2 生産性向上に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業生産をさらに向上させ、競争力を強化するため、農地の集積・集約化や、ロボット技術、ICT等の先端技術を活用したスマート農業の導入などにより生産性の向上を支援します。 ○ 持続的で効率的な林業経営に欠かせない林道や林業専用道及び森林作業道の整備を推進するとともに、高性能機械の導入を推進します。
<p>1-1-3 森林資源の保全と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の状態や立地条件、地域ニーズ等を反映した森づくりを基本としつつ、木材生産の増大に向け、森林施業の集約化を進めます。 ○ 水源の涵養や地球温暖化の防止などを図るため、間伐、枝打、下刈等を適切に進め、健全な森林環境の整備を推進します。 ○ 森林環境譲与税を財源とした間伐や路網等の森林整備のほか、搬出材の有効活用に努めます。
<p>1-1-4 有害鳥獣対策への支援の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有害鳥獣の駆除を担う人材の育成・確保に努めます。 ○ 上市町鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲に努めます。 ○ 鳥獣による被害を受けた集落に対し、町有害鳥獣対策協議会からの技術的・経済的支援を行います。

【主な取組】

- | | | |
|-------------|----------------|--------------|
| ○農業生産基盤整備事業 | ○農産特産物振興事業 | ○農業経営体支援事業 |
| ○中山間地域活性化事業 | ○多面的機能支払事業 | ○食育・地産地消奨励事業 |
| ○優良農地確保事業 | ○林道・作業道整備事業 | ○森林整備事業 |
| ○水と緑の森づくり事業 | ○林業担い手及び事業者の育成 | ○有害鳥獣対策事業 |

■町民や地域・団体・事業者等の取組の例

(町民)

- ◇地元で生産されたものを消費するほか、地元産の魅力を町外へ発信します。
- ◇農業や農地・森林の保全に対する意識を養います。

(地域・団体・事業者等)

- ◆農地・森林の保全や、未来技術の活用による作業の効率化、担い手の確保と育成、有害鳥獣対策を行

1-2 商工業の振興

【現状と課題】

- 人材確保・育成に関して「はたらくらすコネクション事業」や「コーチング事業」が一定の役割を果たしてきたところであり、町内事業所への雇用が増えるよう、今後更なる取組が必要となっています。
- 本町には、従来からの繊維、医薬品関連企業、また、積極的な企業誘致による製造業等の企業が多数立地しています。建設業については、公共事業や住宅需要の動向に左右されるところがあり、既存業者の事業拡大と異業種との兼業等の支援が必要となっています。商業・サービス業は、価格、品揃え、サービスに関する競争が激しく、他市町村への購買力の流出がみられるなか、まちなか交流プラザ（カミール）の魅力向上策、女性に特化した起業支援、特産品開発の支援等を行ってきました。今後、**上市**スマートインターチェンジの整備に伴い、流通網の充実が期待できることから、企業誘致や創業支援、空き店舗の活用等さらなる商工業振興策が求められます。

ミライの 上市

経営基盤の強化により競争力が高まり、各事業者がまちのにぎわいや地域活力を生み出しています。

【数値目標】

指標	基準値	目標値
事業承継支援の件数	1件	10件
誘致企業数(5年累積)	1件	5件
創業件数	3件	15件

【施策の内容】

1-2-1 勤労環境の向上

- 移住・定住策も含めて町内の企業や雇用を紹介する事業を推進します。
- 町内の事業所における就労状況の把握に努めるとともに、関係機関と協力しながら、適正な就労条件の確保や就労環境の向上を働きかけます。
- 仕事と子育て、仕事と介護等の両立を支援するため、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)、育児休業や介護休業等について、事業所や町民に広く啓発を行います。
- **発達障害者を含む障害者の労働について理解が深まるよう、事業所や町民に広く啓発を行います。**

<p>1-2-2 経営基盤への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内事業者に対し、経営の後方支援を行うため、商工会と連携して引き続き各種助成制度の創設や活用の促進により、人材育成、設備投資等を支援します。 ○ 町内事業者に対し、事業継承を後押しする補助制度による支援を行います。 ○ 関係機関と連携して、災害や感染症拡大等の非常時に対応した、事業所の事業継続計画(BCP)の策定を支援します。
<p>1-2-3 起業への支援と企業誘致</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内で起業をチャレンジする方を支援し、まちの賑わいにつなげます。 ○ 既存の枠を超えた新しい地域産業を創発するため、町の地域資源を生かし、産学官金労言士連携と産業間の連携強化、最新技術の社会実装に取り組むことにより、新事業の創出や販路拡大を支援します。 ○ 上市スマートインターチェンジの開業を契機とした企業誘致を推進し、新しい働く場を創出します。
<p>1-2-4 商業・サービス業の魅力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の商店・サービスへの利用促進を図るため、買い物支援や商品開発、販路拡大の取組を支援します。 ○ まちなか交流プラザ(カミール)について、テナント入居者対策や子育て支援機能の充実等で魅力向上を図り、町中心部の賑わいにつなげます。

【主な取組】

- 人材育成事業 ○中小企業融資制度等の拡充 ○創業支援事業
- 事業継承の支援 ○企業立地奨励事業 ○本社機能立地支援事業
- 特産品開発支援事業 ○まちなか交流プラザ(カミール)の魅力向上

■町民や地域・団体・事業者等の取組の例

(町民)

◇日々の暮らしにおいて、地元の商店、飲食店での消費を心がけます。

(地域・団体・事業者等)

- ◆商工会・金融機関等は、関係機関・団体と連携しながら、地元事業者の経営改善及び起業の支援を行います。
- ◆女性の働く場の確保等、事業者や関係機関と連携し女性の活躍する社会の実現に向けた取組を行います。
- ◆学校は、事業者と連携して社会見学・14歳の挑戦等のキャリア教育を推進し、地域の次代を担う人材育成に協力します。

2-1 消防・防災体制の強化

【現状と課題】

- 地球温暖化の影響と考えられる豪雨や台風により、大規模災害の発生が懸念されていますが、本町は市街地では宅地の密集度合が高く、道路基盤も幅員狭小で屈曲が多いなど災害に対して脆弱な面を有しており、また、比較的水はけの悪い低地部では、集中豪雨によって冠水等の被害が発生していることから対策が必要です。
- 災害時の避難に支援を必要とする町民のために、避難支援情報の登録や避難を支援する取組に係る周知を行っています。また、地域ぐるみの防災体制として、防災訓練を実施した自主防災組織の割合は年々増加傾向にあるほか、私設消防隊、防火クラブの活動に対する活動を支援していますが、引き続きこれらの取組を支えていく必要があります。
- 消防・救急については、**富山県東部消防組合において車両・資機材の充実を図るとともに、町が消防団員の確保に努めるなど、体制の強化を図ってきました。**今後は、広大な町域をカバーすることができる消防力と、人員や設備の充実に努めることが求められます。

ミライの 上市

防災・減災の取組は着実に進められ、町民一人ひとりが災害への危機意識と自主防災の意識を高めています。

【数値目標】

指標	基準値	目標値
防災訓練を実施した自主防災組織の割合	48.5%	55%以上
消防団員数	239人(R2)	255人

【施策の内容】

2-1-1 防災・減災体制の充 実

- 災害の動向等を踏まえ、必要に応じて地域防災計画の見直しを実施します。
- 防災用の備蓄品について見直しや追加を行います。
- 消防団の団員確保に努めます。
- 医療機関と連携した講習会や訓練等、救急体制の充実を図ります。
- 減災体制として治山・治水対策を進めます。
- 感染症予防対策を含めた避難所運営体制を構築します。
- **ICT等の新しい技術の活用について調査・研究を進めます。**